

J R山陽本線等倉敷駅付近連続立体交差事業について

連続立体交差事業については、費用対効果の算定結果を公表して以来、倉敷市やJ R西日本と協議を行っているところであり、その経緯等について報告する。

1 経緯

1月15日：費用対効果算定結果の公表

※公表以降、倉敷市には、費用対効果の算定結果について丁寧な説明を行うとともに、J R西日本も含めてコスト縮減や工法変更等の方策について、協議を行っている

1月18日：倉敷市及び倉敷市議会から連続立体交差事業の整備促進について、要望書を知事に提出

1月28日：J R山陽本線等倉敷駅付近連続立体交差事業整備促進岡山県議会議員連盟が、事業の整備促進について、要望書を知事に提出

2月4日：倉敷市等関係者と協議中であることから、事業評価監視委員会での審議延期を土木委員会へ報告

5月24日：本年度第一回事業評価監視委員会の審議対象としない旨を土木委員会へ報告

6月18日：倉敷市議会で、市長が「倉敷地区都市拠点総合整備事業計画」（平成5年3月策定）の見直しを表明

8月29日：倉敷市議会鉄道高架化推進議員連盟が、鉄道高架化の早期事業着手を求める167、447名署名の陳情書を知事に提出

10月15日：J R山陽本線等倉敷駅付近連続立体交差事業整備促進岡山県議会議員連盟が、事業の整備促進について、要望書を知事に提出

2 今後の進め方

再評価の一環として、コスト縮減や工法変更等の方策について、J R西日本に委託して多角的な検討を行う。

なお、倉敷市においては、まちづくり計画の見直しに向けた作業を進めている。